

数字は、議題 ANNEXE の番号。

27A タスクセッターを置く提案は承認された。

現在、タスクはタスクコミティーで決定されるが、これを、新たにそのエリアに精通している、タスクセッターと言う役職を設け（競技委員長あるいはセーフティー委員長が兼任することはできない）、そのものが、基本的にタスクを決定することとする。タスクセッターに助言することのできる選手からなるアドバイスグループを設けることは可能。タスクセッターはそのエリアで良く行われているタスクあるいはあらかじめ作成したタスクを用意して、公式練習日あるいは大会最初のタスクの2日前までに公表しなければならない。適用、PGXC カテ1。2027年1月1日から。

27B 新たなゴールを大会中に追加する

S7a、Paragraph 3.6.2 (Suitability of Goals) に特例として可能とする案は承認された。

スチュワードが、自身あるいはビデオにより、適切であると判断したら、大会開始後にもゴールを追加できる。新しいゴールが出来るだけ速やか（少なくとも、タスク開始15分前まで）に、ウェイポイントリストにアップされ、タスクのQRコードに含まれていることを条件として。カテ1のPGXCコンペに適用とするが、カテ2に対して推奨する。2027年1月1日から適用。

27C 性能イコライザー装着を強制する

41ARG2と同じなので、取り下げられ、41ARG2での採決で反対多数で否決された。

27D バラスト関連

昔の、バラスト重量を33kg以下に制限すること。例外として安全かつ問題なくテイクオフが出るなら95KG迄バラストを積むことは可能。承認された。適用、PGXC2027年1月1日以降開催のカテ1大会から。

27E 軽量クラス

認証最大飛行重量が95kg以下の機体に乗る選手を対象とする「軽量クラス」を設けて表彰する。適

用、PGXC 2027年1月1日以降に開催されるカテ1大会から。

27D/E 27D および27E が承認された場合、アmendで95Kg を90kg に、適用を2027年1月1日から2029年1月1日に変更する案は承認された。

#### 27F 最低限の医療体制

昨年のカテ1大会での事故を受けて、最低限の医療体制を改善する案は承認された。

これまでは医療関連に関して、規定されていたが、新たに救助関連（例えば、ツリーランとか、崖の途中に墜落している場合に救助する）も規定し、装備も、通常のものだけではなく、HG/PGに関わるものも規定する。また大会開始前にCIVLが医者あるいは医療専門家を派遣して、必要な体制・装備がそろっているか、改善点が改善されているかをチェックして、場合によっては大会を延期、あるいは中止される可能性を残している。

#### 34A カテ1大会の期間を短くする提案。

現行のカテ1大会期間の最長を14日としているのを、最高10日とする。PGに関して承認。HGに関して否決。適用は2026年5月1日以降のカテ1およびカテ2大会であるが既に期日の決定している大会を考慮して2029年1月1日以降に開催される大会から。

#### 40 CSCクラスの定義案は承認された。

CCCと同様にCIVLが規定するスポーツクラス(CSC)の基準と規定を提案し、安全性と公平性を確保しつつ競技参加の促進を目的としています。ただ単にEN-C以下とすると、飛ぶのが難しい機体ができる可能性があり、また、EN規準は競技志向で作られていないのでその基準を競技クラスの基準とするのははばかれるので、CIVLによる基準を作成した。その主な内容は

- ・EN 926-1 と EN-C 以下の EN 926-2 の認証を受けていること。
- ・アスペクト比は 6.8 以下。
- ・セル数は 67 以下。

- ・機体重量は最大離陸重量の 6.5%未満。
- ・空中で操作できるトリマーは認めない。
- ・2 ライナーには固定スピードリミッターが必要とされる。

2026 年 5 月 1 日以前に EN-C 以下の認証済みのグライダー（ただし、最大認証飛行重量が 75 kg のグライダーモデルで、それより大きいサイズ全部が EN-C の認証を取得していれば EN-D であっても例外として許容する）は上記基準（2 ライナーのリミッターは除く）を満たしていなくても CSC として認められる。2028 年以降のカテ 1 大会では CSC または 2026 年 5 月 1 日以前に認証済みのグライダーのみ使用可能となる。

4 1 A R G 2 2027 年 1 月 1 日以降の P G X C カテ 1 大会ではイコライザーを使用しなければならないとの提案は否決された。

4 1 B U L 2 コントロールゾーンに高度の上下を追加する案

これまで、コントロールゾーン（ターンポイント、ライン、ゴール）は 2 次元のものであったが、それに高度も加えることを可能にする提案。承認された。適用は、HG と PG の XC と PG の H&F で次期ヨーロッパ選手権から期待される。

4 1 E S P 4 カテ 1 およびカテ 2 大会で、コンプレインをメールで送れるようにする提案は承認された。

4 1 G B R 1 CCC および P G X C 大会に参加する機体（2 ライナーに限る）に関して A ラインと B ラインの長さの基準値からの平均誤差を従来の  $\pm 20$  mm から  $\pm 10$  mm とし、トリム速度が速くなる方にずれていたら ( $> -10$  mm) 失格、遅くなるほうにずれていたら ( $> +10$  mm) 警告を受けるとする提案は承認された。ただし適応時期について触れられていないが 2026 年 5 月 1 日以降となる。PWCA では既にそうしているとのこと。

4 1 H U N 1 コンペハーネスのプロテクションが十分安全でないのでより安全にするため衝撃吸収試

験のしきい値をより安全サイドに変更する提案は承認された。本来ならば、EN の作業部会の新基準を待っていたのだが、すぐには出てきそうにもないので既に顕在化している問題を是正するために CIVL が率先して規準を作成する。その基準の内容は：

- ・ダミー姿勢 22.5 度時の最大加速度衝撃荷重 3.5 G
- ・ダミー姿勢 75 度（寝そべった状態）時の最大加速度衝撃荷重 4.5 G
- ・ダミー姿勢 22.5 度時の最大 SIC 値 1.5

4.1 HUN3 現在高度の判定には GNSS を使用しているのを、較正された気圧高度を使用する提案は否決された。

4.1 POL2 現在、EMS に記載された大会のページを開くと「Forecast」というボタンがあるが、その内容に追加で、レジストレーションした本人が、現在の WPRS ランキングに見合った結果を出したら何ポイント得られるかも表示する提案は承認された。

4.1 SRB1 PGXC において、現在ディフェンディングチャンピオンや WPRS トップランク女子パイロットが通常の各国枠以外として参加が認められており、強豪国に有利になっているのを是正する提案は承認された。その内容は：

A) 1. チームメンバーは 3 人（固定）とする（ただし、世界、大陸により変更も可能でローカルルールに明記する）

2. チーム成績は各タスクでの 3 人のうちのベスト 2 人の合計点

3. チームメンバーはどちらの性別でも構わない。

B) チームメンバー以外に女子 1 名を追加可能

C) 1. 最初の選抜は、WPRS 国別ランキングにより行われる

2. 大会最大参加選手数により左右されるが国別ランキング 3-4 位までの国が 3 人チームメンバーと追加女子 1 名をエントリーできる。

3. 期日までにエントリー支払いがされて、なお枠が余ったら、国別ランキングのそれ以降の国が

らエントリーを受け付ける。

適用は理事会の承認を得たうえで次回 XC 選手権から。

4 1 SUI1 現在のタスク設定では、ESS を低高度で高速で切って、その後時間をかけてゴールをすることで高得点が得られるため安全性の問題が起きている。それを是正するために、ESS を設定せず、ゴールを意図的に高い高度に設定して、ゴールで時計が止まることとし、その設定高度以下でゴールを切ることに対してペナルティを科すことで安全性を確保する提案は承認された。(注：従来の ESS+ゴールも残る)

デフォルトのあげる高度は300mとし、設定高度以下でゴールした場合に、タイムポイントを計算式で求められる係数(設定された高度以上でゴールした場合、1。実際のゴールの高度以下(現実にはあり得ないが)でゴールした場合、0.8。)分減産するペナルティが科せられる。

適用は、HG,PG の XC に対し、2026年5月1日以降。詳細は ANNEXE の原文を参照のこと。

4 1 SUI2 現在のスコアリング計算式によれば、タスクがストップした場合、ストップした時刻にいる位置によっては、ゴールに向けて飛び続けることでポイントがアップする可能性がある。これは、安全上問題があるので、タスクストップしたら、それ以上ゴールへ向かってフライトしても有利にならないようにポイントが計算されるようなスコアリング計算式にする提案。承認された。内容は長文で複雑なので ANNEXE の現物を参照のこと。

4 1 SUI3 現在、高度はGNSSで測定することになっているが、これをより正確な、校正された気圧高度QNHを使用する提案は、否決された。

承認された選手権

第3回ジュニア世界選手権：スペイン Pegalajar 2028年5月14～22日

第19回PGヨーロッパ選手権：ポルトガル Serra do Larouco 2028年7月22日～8月4日

第8回PGパンアメリカン選手権：メキシコ Tapalpa 2028年11月11～19日

2028 PGアジア・オセアニア選手権：カザフスタン Tekeli 2028年6月